

概要

イメージセグメントアーカイバー11.0は、スキャンされたイメージドキュメントの一部を分割し、個別のドキュメントとして保存する機能を提供するドキュメントイメージングのアドオンモジュールです。シンプルなクリックアンドドラッグのマウス操作で、複数のドキュメントから構成される結合ドキュメントを個別のドキュメントに分割することができます。個別に保存した新規ドキュメントでは、ヘッダー、フッター、前書き、後書きといった元のドキュメントのフォーマットを維持することも可能です。このように個別のドキュメントとして保存することで、特定の情報を容易に見つけることができ、大量の情報が含まれている結合ドキュメントから必要な部分だけを検索・共有することが可能になります。

主なメリット

- 新たに個別のドキュメントを作成することで、結合ドキュメントから必要な部分を迅速に検索可能
- ドキュメントから不要部分を手作業で削除する必要性を排除し、ドキュメントの共有を容易化
- 他のユーザーに該当する情報を開示することなく、個別ドキュメントをセキュアに共有

アプリケーションの利用価値

- 医療機関：すべての患者の保険給付明細書を一つの結合ドキュメントにまとめて一括処理している医療機関は、各患者ごとに個別の明細書を手動で作成することができます。結合ドキュメントを各患者の医療記録ごとに分割し、特定の患者一人の情報のみを表示することで、給付金に関する情報を第二、第三の保険業者と容易に共有することが可能となります。
- 買掛部署：すべての請求書を1つにまとめた結合ドキュメントを個別の項目またはセクションごとに分割することで、すべての請求書を各支払部門に送ることなく、それぞれ該当する部署のマネージャーに転送し支払承認を得ることができます。
- 印刷済みレポートの配布：レポートのスキャン後、内容に応じて個別ドキュメントに分割することで、レポートの受領対象者は該当するドキュメントをセキュアに検索・表示することができます。

デザイン



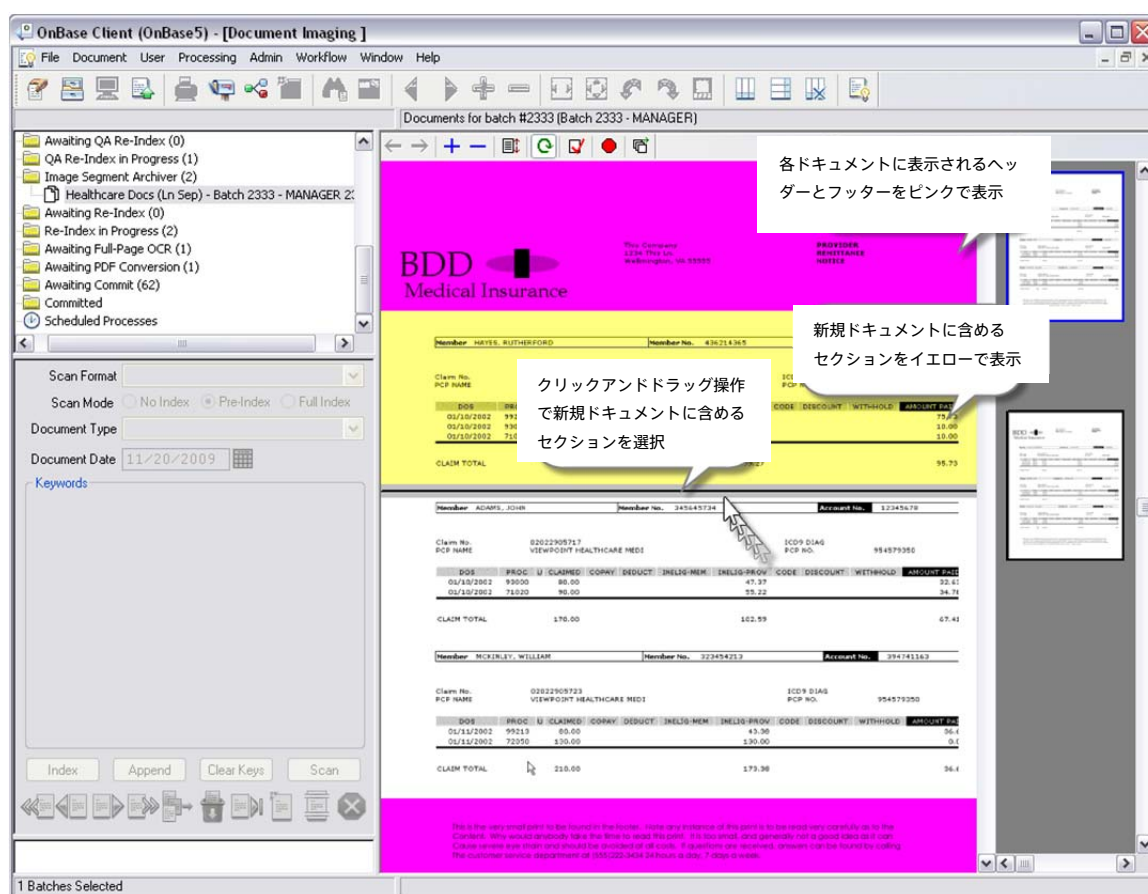
結合ドキュメントはスキャンされ、イメージセグメントアーカイバーオプションを使用するように設定されたスキャンキューに送られます。スキャン作業とインデックスの作成が終了すると次のキューに移り、イメージセグメントアーカイバーがライセンスされたワークステーションにてバッチドキュメントは新しいドキュメントに分割されます。その結果、ヘッダー、フッター、前書き、後書きなど元のドキュメントの形式を維持した全く新しい個別ドキュメントが作成されます。また、元のドキュメントの前書きや後書きと同様にページのヘッダーやフッターが新規ドキュメントにも維持されます。

主な特徴

- スキャンキューのオプション設定に応じてバッチプロセスまたはドキュメントのインデックス作成時に使用可能
- ドキュメントを新規バッチに送り、個別のドキュメントとしてインデックスを作成
- 新規ドキュメントを別にドキュメントタイプを割り当てることで、元の結合ドキュメントの整合性とセキュリティを確保
- クリックアンドドラッグ操作により新規ドキュメントに含めるセグメントを容易に割り当て
- 新規ドキュメントに含めるセクションおよびヘッダーとフッターを色分けして視覚的に表示
- 複数ページに及び記録を組み合わせることで個別ドキュメントを作成可能

インターフェース

イメージセグメントアーカイバーを使用して新規の個別ドキュメントを作成した例



HYLAND
SOFTWARE

28500 Clemens Road • Westlake, Ohio 44145 • p.440.788.5000 • f.440.788.5100 • www.hyland.com
©Hyland Software, Inc. All rights reserved. Trademarks are the properties of their respective owners.